



世界一周を成し遂げた愛車とともに



訪れた世界の国々で撮影した写真を紹介する加藤さん



砂漠の砂やラジオなどを展示

【記念講演】

「自転車で地球を走る。熱く生きる。」

～9年11カ月、111カ国、140,261 kmの轍～
わだち加藤 かとう あきら彰さん (米子市)

目標に向かって挑戦し、白地図に足跡を

式典後に行われた記念講演は、自転車世界一周は、今年の6月14日にゴールである米子市に着いた「自転車野郎アキラ」こと、加藤彰さんが、9年11カ月の旅の中で見た光景や各国での出会いとふれあいを、写真や映像で振り返りながら、新成人を激励しました。

まず、「9・11アメリカ同時多発テロの映像を見て、いつ終わるか分からない命なら、やりたいことをやるうと思つた」と、加藤さんは旅を決意した思いを説明。さまざまに暮らす人々とのふれあいが大切で、受けた親切が力になったとも話しました。

映像では、アフリカを走る様子を紹介。少々のことでは心が折れないだろうと思つていたが、気温60℃近い中で水がない状態のサハラ砂漠が一番大変だったとのこと。砂で自転車走らず、荷物を持つて少しずつ進む加藤さんの様子を、新成人はじつと見つめ

ていました。加藤さんは映像を振り返り「過酷な気候の中で暮らす人が、見ず知らずの自分を家に招き入れ、そこでは貴重な食材・砂糖を使ったお茶を入れてくれた。言葉は通じないが、大きなふれあいに助けられて幾度となく困難を乗り越えてきた。応援に支えられた」と、感動のエピソードを紹介しました。

「やりたいことを始めたときが一番楽しい」と笑顔になる加藤さん。新成人へ「二十歳を振り返ると、人生の中で一番輝いていたときで、力がみなぎっている。今、このときは何事にもチャレンジし、人から見たらつまらないことでも、一つのことには一生懸命全力で進むことを忘れないでほしい。向かった先には、言葉では言い表せない感動が得られると思う。若い人にはチャンスがいっぱいある。100努力を出したと言えるように頑張つてほしい」と、力強いエールを送りました。

【新成人代表あいさつ】

成人式を迎えられたのは両親や家族、先生、地域の皆さまのおかげ、感謝の気持ちを忘れず目標に向かって突き進みたい

本日は、私たちのために盛大な催しをしていただき、誠にありがとうございます。また、お祝いと激励の言葉をいただき、町長、来賓の方々、ご出席いただいた皆さまに感謝申し上げます。

さて、私たちも二十歳を迎え、すでに職業に従事している人や学業に励んでいる人など立場はさまざまですが、一人一人が自分の行動に責任を持ち、社会の一員として常に向上心を持ってまい進する覚悟であります。

この自然豊かな日野町に生まれ、共に過ごした仲間と、今こうして日野町の新成人として誓いを共にし、このふるさとを自分たちの誇りとして心に刻んでいきたいと思えます。

私は中学校を卒業後、岡山の高校で3年間を過ごし、現

在は大阪で大学に通っています。経済学を勉強し、将来は金融関係の職業に就きたいと思っています。

景気は回復してきていると言われていますが、地方では必ずしもそうではありません。それでも私は目標を見失わず、向上心を持って努力し、まい進していくつもりです。

今日、私たちがこうして集い成人式を迎えられるのは、私たちを支えてくださった両親や家族、導いてくださった先生方、そして地域の方々、共に歩んだ仲間たちのおかげです。

この感謝の気持ちを忘れず、成人としての決意を忘れず、力強く、やさしく、たくましく生きていくことを誓って、新成人代表のあいさつとさせていただきます。



にしむら
西村 賢人